

競輪公益資金による補助事業

平成25年度 引きこもり・不登校に対する支援活動 補助事業

「親子宿泊体験教室」公益財団法人こども教育支援財団

【1】 補助事業の概要

(1) 事業の目的

全国の小中学校における不登校の総数は 112,689 人で依然として相当数に上っています。(総務省統計局「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」2013年12月10日公表より)

本事業は、そうした学校に通いづらい小中学生宿泊を伴う教育的・体験的なワークを通し、学校復帰につなげることを目的として実施しました。学校に通いづらい小中学生が学校復帰するためには、その子ども達やその保護者の自信を回復させることや自尊感情を高めることが必要であるさまざまな調査で指摘されています。そこでキャンプ(宿泊)という非日常的な生活のなかで、子ども達の自尊心を高め、学校復帰に対する意欲、自信、また保護者の安心感をそれぞれ段階的に育むプログラムを行うことによって、子ども達と保護者の自信を定着に向けて支援することを目的としています。

(2) 実施内容

コミュニケーションに対する自信回復を促すために、5日間(2泊3日とその前後でそれぞれ1日ずつのプログラム)に分けた段階的プログラムを実施しました。

①参加者の顔合わせとガイダンスなどの事前オリエンテーション



②泊3日のグループワーク



1) 1対1の関係づくり、小集団、数十人の集団という段階的にコミュニケーションが深まるグループワーク



2) 子育てに関する自信回復を目的にした専門家によるグループカウンセリング



3) 将来のモデルとなることを目的とした高校生によるピアアシスタント、メンタルサポーターの配置

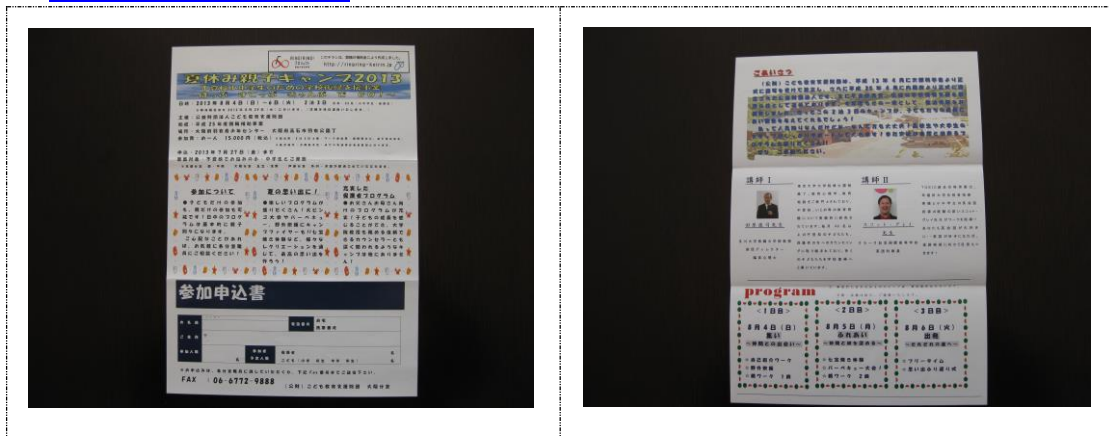
③活動のスライドショーや色紙の贈呈など成功体験の共有と自尊感情を定着を図るための事後報告会



【2】 予想される事業実施効果

自尊心の低い状態から徐々にそれを高めるためのスモールステップアッププログラムを全国各地で展開していくことが可能になると考えています。全国で展開していくためには、会場や参加人数などの規格が変わっても対応できるプログラムである必要があり、そのためにはプログラムの根幹をなすステップごとの目的やキーワードが精査されていく必要があります。東西2か所で開催することにより、今後の展開を踏まえたプログラム開発が可能になると考えています。

【3】 本事業に係る成果物 補助事業により作成したもの キャンプちらし(近畿圏)



キャンプちらし(首都圏)



親子体験教室平成25年度実施結果のご報告



【4】 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人こども教育支援財団（コドモキョウイクシエンザイダン）

住所： 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-1

代表者： 理事長 大橋 博（オオハシ ヒロシ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局長 辻口欣也（ツジグチキンヤ）

電話番号： 03-5823-2566

F A X： 03-5823-2577

E - m a i l： k.tsujiguchi@kodomo-zaidan.net

U R L： <http://www.kodomo-zaidan.net/index.html>



この事業は競輪の補助を受けて実施しました。

<http://ringring-keirin.jp>



競輪補助事業完了のお知らせ

この度平成25年度の競輪の補助事業を受けて、下記の事業を完了致しました。
本事業の実施により、学校に通いづらい子ども達がキャンプを通じて自信を回復し、学校復帰へとつなげました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



記

- 1.事業名 平成25年度引きこもり・不登校に対する支援活動補助事業
- 2.事業の内容 親子宿泊体験教室
- 3.補助金額 1,242,533円
- 4.実施場所 (キャンプ会場として)

【首都圏】 千葉市少年自然の家(千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野 1591-40)

【近畿圏】 大阪府羽衣青少年センター大阪国際ユースホステル(大阪府高石市羽衣公園丁)

他

- 5.完了年月日 平成26年1月29日



公益財団法人 こども教育支援財団
理事長 大橋 博